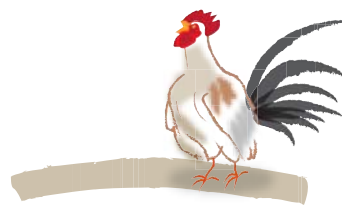


謹賀新年



新年明けましておめでとうございます。

旧年中はご愛顧、ご鞭撻賜りまして誠に有難うございます。改めまして厚く御礼申し上げます。

さて、弊社が現在取り扱っておりますインプラントダイレクト社 (Kavo Kerrグループ) 製インプラントは、2014年10月のLegacy1インプラントを皮切りに、2015年7月からLegacy2・3インプラントを、また昨年7月からはLegacy HAインプラント、そして10月にはInterActive、SwishActiveインプラントと順次ラインナップを増やしてまいりました。これでインプラントダイレクト社がもつ世界ビック3のインプラントメーカー全てに対応した製品ラインナップのほぼ9割が揃ったこととなります。

ご承知のとおり、インプラントダイレクト社はヨーロッパ及び北米においてもここ数年最も成長しているインプラントメーカーで、現在北米では第3位までシェアを伸ばしております。先生方の多くは、患者様に応じた複数種のインプラントシステムを採用しておられると思われませんが、このインプラントダイレクト社製品のみで世界のメジャーなインプラントシステムを網羅しており、品質の維持はもとより、更に進化させ、且つコストパフォーマンスを兼ね備えたシステムとして先生方並びに患者様のお役に立てるものと考えております。私共も今年度から本格的な活動を展開してまいります。その一環

として昨年以上の研修会を企画いたしておりますので順次先生方にご案内させていただきます。

また、私共は昨年、インプラント治療における審査診断から最終補綴までのデジタルソリューションとして、診査診断(コンビームCT)→治療計画(シミュレーションソフト「ランドマーク」)→インプラント埋入(ガイドシステム)→補綴設計(スキャナー&CAD)→ミリング(CAMによるカスタムメイドアバットメント作製)といった一連の流れを整えました。先生方にも今まで以上にご利用いただきやすくなりますので、詳しくは弊社担当者に是非お問い合わせください。

日本におけるインプラント業界は、ここ数年来市場規模に大きな変化はありませんが、私共は国内インプラント業界団体として2002年に立ち上げました「社団法人日本歯科インプラント器材協議会」メンバーの一員として、節度ある行動と共に、インプラント及びその関連器材の安全性を最優先に考え、関連法令を遵守し、患者様の健康回復のお役に立てるよう業界団体活動を通じて貢献してまいります。

最後に、先生方におかれましては本年が良い年でありますよう、心よりお祈り申し上げます。本年も相変わりがせず、何卒よろしく願い申し上げます。

株式会社インプラテックス 代表取締役 北山 良計

Next Premium Implant



患者様、先生方の多様なニーズにお応えできるインプラントです。
「品質・機能性」と「コストパフォーマンス」のグッドバランスで、理想の治療をサポートいたします。

ご好評頂いておりますImplant Direct社のレガシーインプラントシステムに続き、インタラクティブインプラント、及びスウィッシュアクティブインプラントを発売いたしました。豊富なバリエーションを持つインプラント体、アバットメントパーツ類は、高品質ながら適正価格を実現しております。患者様への費用的な新しいご提案が可能となる…、患者様、先生方双方へのコストメリットが期待できる「次世代インプラント」の導入をぜひご検討ください。 承認番号: 22600BZ100012000 22700BZ100018000 22800BZ100019000 22800BZ100024000



InterActive™
インタラクティブ **NEW**



マイクロムーブメントを起こしにくい、プラットフォーム・シフティングと今トレンドのコンカルコネクション(CC)採用!

SBM



Legacy™ System
レガシーシステム **180種**



SBM SBM HA SBM HA

圧倒的な選択肢! HAコートやショートインプラントもラインナップ、症例の拡大に!「オールインワンパッケージ」による高いコストパフォーマンス。最終補綴まで製作可能!(レガシー3は最終アバットメント付属)



SwishActive™
スウィッシュアクティブ **NEW**



SBM

接合様式はコンカルコネクション(CC)を採用!

インタラクティブインプラント、スウィッシュアクティブインプラントのカタログをご用意いたしました。お気軽にご用命ください。

昨年10月24・25日に米国ラスベガスにて開催いたしました「第2回ラスベガス インプラントセミナー2016」にご参加頂いた、君賢司先生に参加レポートをご執筆頂きましたのでご紹介いたします。

ラスベガス インプラントセミナー2016 に参加して

福島県会津若松市 きみ歯科・口腔外科クリニック 君賢司

インプラテックス社主催の第2回ラスベガスインプラントセミナー2016が10月24日から25日まで開催されました。私は、本年6月より4か月間、同社主催のロマリダ大学インプラント認定コースに参加していた流れもあり、すんなりと本コースへの参加を決めました。ロマリダ大学インプラント認定コースの講師陣である、梅津先生、大山先生、多保先生の参加もあり、インプラテックス社員の方2名を含め計15名での、アットホームな雰囲気でのセミナーとなりました。

以下ツアーの内容を記載します。

10月23日 成田空港からシアトル経由でラスベガスへ。今回のセミナーは現地集合となっていました。海外に不慣れな私はインプラテックス社員の方と同一旅行日程で参加させて頂きました。宿泊したホテルはParis Las Vegasで、石畳の歩道やエッフェル塔と凱旋門の1/2サイズのレプリカなどがあります。夜は先生方と社員の方と私で、Las Vegasでのディナーを楽しみました。その後、一昨年オープンした世界最大の観覧車であるハイローラーに乗って、ラスベガスの夜景を見ながら楽しいひと時を過ごしました。街は時節柄、大統領選挙とハロウィーンの雰囲気に包まれていました。

10月24・25日 ラスベガス郊外のImplant Direct社研修センターに



てセミナーが行われました。講師は米国のインプラント第一人者でコロンビア大学臨床教授であるProf. John Cavallaroで、ニューヨーク大学歯学部で25年間、そして現在はコロンビア大学でインプラントのポストグラジュエートコースの教鞭を執っておられる先生です。北米で議論されているインプラントの最新トピックス(抜歯即時埋入インプラント、インプラントにおける歯冠歯根長比の関係、ショートインプラントの臨床応用、インプラントと隣在歯とのコンタクト、トラブル・失敗症例のリカバー、最新のインプラントシステムのリサーチ結果)に関する講義が行われました。特に、インプラントにおける歯冠歯根長比の関係、ショートインプラントの臨床応用についてはこれまでの自分の知識とは異なる内容の講義を受け、それらエビデンスに基づく新しい知識を今後の臨床に活かすことで臨床の幅が広がると感じました。また、インプラントと隣在歯とのコンタクトに関する問題は、臨床で経験するもの

の、まだエビデンスは確立していないとのことでした。今後の研究に注目していきたいものです。通訳の梅津先生は、非常に細かいところまで丁寧に訳していただき、また、アドバイザーとして参加された大山・多保先生には受講生に代わって適時気になるポイントを質問していただき、講義内容を深く理解することができました。

2日目の講義に先立ち、Prof. Cavallaroによるテコンドローのデモンストレーションがありました。40年以上のご経験だそうです。研修の最後にImplant Direct社製レガシー2インプラントを用いてハンズオン実習を行い、その後、サーティフィケート授与式を最後にセミナーは終了となりました。やや、日程がタイトだったこともあり、途中一部体調を崩された方もいらっしゃいましたが、大いに実りある楽しいセミナーでした。



10月26日 朝の便でシアトル経由で帰国の途へ。

セミナーは終始明るく楽しい雰囲気で行われ、Las Vegasの街に魅了された先生方も多かったのではないかと思います。個人的にためになったことは、インプラントをご専門に多数のインプラント症例を手掛けていらっしゃる先生方とお知り合いになることができ、さらにそのノウハウをお聞きすることができたことであり、今後私がインプラント診療を行う上で、役立てていきたいと思っております。



最後に、素晴らしい通訳をされた梅津清隆先生、共に参加された先生方、海外の不慣れな私に細かくお世話頂きましたインプラテックス社、Implant Direct社スタッフの方々に感謝いたします。



第3回ラスベガス インプラントセミナー2017 開催決定!!

日程：2017年10/20(金)・21(土) (全2日間)

会場：インプラントダイレクト社 ラスベガス研修センター (米国ネバダ州ラスベガス)

講師：Prof. John Cavallaro (コロンビア大学臨床教授)

主催・お問合せ先：株式会社インプラテックス本社

TEL:03-5850-8555 FAX:03-5850-8505



Prof. John Cavallaro

コロンビア大学臨床教授
ニューヨーク州ブルックリン開業
American College of Prosthodontics 会員
Academy of Osseointegration 会員

詳しくは弊社WEBサイトに
近日中にご案内いたします。

新システム「インタラクティブ™インプラント」のLandmark System™を用いたインプラント埋入

東京都 藤関歯科/神田インプラントセンター 藤関 雅嗣

Implant Direct社のインプラントシステムは、2014年にレガシー™インプラントのSBM処理タイプが発売され、同じくレガシー™インプラントのHAコートタイプが続き、昨年10月にはコニカルコネクションを有するインタラクティブ™が発売された。同インプラントは、プラットフォームこそレガシーシステムとは異なるが、ドリルは共通のものが使用可能である。さらに、iCAT社のインプラント支援システム「Landmark System」のLANDmarker (シミュレーションソフト) 及びLandmark Guide (サージカルガイド) がレガシー、インタラクティブに対応した。今回これらのガイドツールを使用してインタラクティブインプラントの埋入高を高精度で形成できたのでその使用感を報告する。

患者概要

初診:2016年6月

主訴:23番破折によるインプラント治療希望

経緯:他院より23番破折と診断され、インプラント治療依頼で紹介された。その他の欠損部位には既に複数の歯科医院によりインプラント治療が行われていた。23番をパノラマX線写真及びブローイング診査すると、根尖側1/3付近に破折線が認められブローイング値も部分的に9ミリで破折と診断した(図1)。



図1

治療方針:犬歯は歯根長が長く抜歯後既存骨量が減少することから、抜歯後の骨治癒を4ヶ月程度待って、CBCTによる骨診査を行い、インプラント治療を行う計画にした。抜歯は紹介医院でおこなわれた。3ヶ月の治癒期間後にCBCTを撮影して骨診査を行うと、抜歯窩の治癒は良好であったが、骨頂部骨治癒の安定はあと1ヶ月程度必要と判断した(図2)。



図2

さらにこのCTダイコムデータとスタディーモデルにより、LANDmarkerを使用して、補綴形態から埋入ポジションをシミュレーションする術前診査を行い(図3)、そのポジションを埋入手術時に正確に再現する為に、Landmark Guideによる サージカルガイドを製作した(図4-1-2-3)。

Landmark Systemと使用感

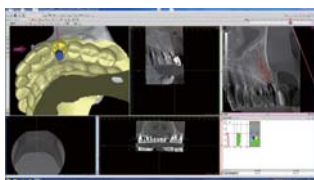


図3



図4-1

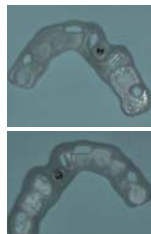


図4-2

図4-3

LANDmarkerは、骨の状態が画面上で正確に把握できるよう設計されている。主要なインプラントシステムに対応し、インプラント体もリアル表示で仮想設置できる。また仮想の歯冠形態も画面上で概形設定でき、非常に簡単にシミュレーションが行える。また、シミュレーション後に製作されるガイドの適合も良く、適宜配置されたインスペクションウィンドウにより、適合状態の確認も容易に行える(図5-1-2-3)。



図5-1



図5-2



図5-3

Landmark Systemのシングルガイドでは専用の2mm径ドリルを使用し、ドリルストッパーによって埋入深度まで穿孔する。ドリルは内部注水式であるため、骨火傷を抑える。メタルスリーブとドリルは適度に適合し、操作性に問題はない。ガイドを歯牙支持式にし、骨膜弁を形成するとドリルの滑りや、ずれ等の確認が可能になる。シングルガイドの使用はここまでで、以降の形成はインプラントシステムのドリルを使用する(図6-1-2-3)。



図6-1



図6-2



図6-3

インタラクティブインプラントについて

インタラクティブインプラントには、カバースクリュー、ヒーリングカラー(3mmH)が同梱され、大変経済的である(図7)。ネック部は平行な形状にマイクログループとミニスレッドが付与され、骨頂部のストレスを低減し骨のダウングロースを抑えることができるようにデザインされている。さらにバットレススレッドとカッティンググループにより初期固定を増大することができる機能が付与されている。本症例は抜歯後の骨頂部治癒が裂開部を伴って脆弱な骨質であったが、骨孔を最終ドリル径より小さく形成しセルフタッピングにより埋入したところ、唇側骨は裂開も起こさず、エキスパンションされ、十分な骨量の獲得ができた(図8)。



図7



図8

今回は同梱されている高さ3mmのヒーリングカラーを埋入後に装着し、一回法とした。このシステムのヒーリングカラー、印象用トランスファー、アバットメント等の補綴コンポーネントそれぞれの歯肉貫通部のエマージェンスプロファイルは全て同じ形状で、審美性の高い軟組織形態を形成するコーンケープ形状となっている。またプラットフォームシフティングの採用によりダウングロースの抑制が期待される(図9-1-2-3)。

埋入後CBCTで確認すると、術前シミュレーションとほぼ同じポジションに埋入できたことがわかる(図10)。



図9-1



図9-2



図9-3

補綴後の予後観察については追って今後報告したい。



図10

InterActive™
インタラクティブ
インプラント直径: 3.2, 3.7, 4.3, 5.0mmD
長さ: 6/8/10/11.5/13/16mmL (3.2mmDのみ8~16mmL)
商品構成: インプラント、カバースクリュー、3mmHヒーリングカラー

※インタラクティブ™インプラント、Landmark System™はどちらも(株)インプラテックスで取り扱っております。お気軽にお問合せください。

日本に居ながら最先端の技術と情報を習得!ロマリダ大学発行サティフィケートを授与! ロマリダ大学インプラントベーシックコース2017 開催決定!!

大変ご好評頂いているロマリダ大学インプラントベーシックコースですが、第三回目となる同講師陣による2017年度開催が決定いたしました。
前回見送られた先生も、ぜひ参加をご検討ください。

日程: 2017年5/27・28、6/24・25、7/22・23、8/26・27 (全8日間)
会場: 株式会社インプラテックス セミナー室 (東京・荒川区)
詳細は同封の案内状および弊社WEBサイトもご覧ください。

mectron



国際ピエゾアカデミー×mectron社 共催 SPRING MEETING 2017 in VENICE

国際ピエゾアカデミーとmectron社が共催で初めて企画した継続的教育プログラム「MECTRON SPRING MEETING 2017」が、イタリア ベニスにて開催されます。日常の臨床に役立つピエゾを用いた4つの異なる分野の外科手術テクニックを、その手技を開発した先生方が直接講演・解説いたします。



早期登録割引
mectron製品ユーザー特典あり

日程: 2017年6月23日(金)

会場: Palazzo Cavalli-Franchetti (イタリア・ベニス)

演者: Prof.Tomaso Vercellotti 他

講演プログラム:

Dr.Claudio Stacchi

ウルトラソニックを用いたインプラント窩の形成と臨床的メリット

Prof.Leonardo Trombelli

歯冠長延術のテクニックと技術

Dr.Rosario Sentineri

スプリットクレストーピエゾインサートチップとボーンエキスパンダーを組み合わせた優れた術式

Prof.Tomaso Vercellotti

サイナスリフト再考ーピエゾを用いた側方及びクレストからのサイナスリフト

ご登録・詳細につきましては下記オンラインレジストレーションまで

www.mectron.com/spring-meeting



Prof.Tomaso Vercellotti
ピエゾの開発者、国際ピエゾアカデミー会長(創始者)、UCL-Eastman Dental Institute 名誉教授、イタリアのジェノバ市にて開業。



Dr.Claudio Stacchi



Prof.Leonardo Trombelli



Dr.Rosario Sentineri

2017年ピエゾサージェリープレミアム講演会 & ハンズオンセミナー開催のお知らせ

今秋、弊社主催にて「ピエゾサージェリー講演会」を企画いたしました。国内外から著名な先生を招聘し、ピエゾサージェリーを使用した口腔外科・インプラント治療以外に一般治療でも応用できる多岐にわたる症例・治療のノウハウをご講演頂きます。ぜひこの機会にピエゾサージェリーの世界をご確認ください。

日程: 2017年11月25日(土) ピエゾサージェリープレミアムハンズオンセミナー

26日(日) ピエゾサージェリープレミアム講演会

会場: 東京/秋葉原UDXシアターホール(東京都千代田区) 他

演者: Domenico Baldi先生 山崎 長郎先生 三好 敬三先生 白鳥 清人先生 磯村 治男先生



当講演会の参加費等詳細につきましては、弊社WEBサイト・雑誌広告等でご案内いたします。

Special Price Product

特別値引品
コーナー

売切終了
お早目に!

弊社WEBサイトにて特別値引きコーナー開設中

日頃の感謝をこめて、特別値引コーナーを開設いたしました。掲載商品は売り切れ次第、販売終了となります。数が少ない品もございますのでお早目にお買い求めください!

詳細・該当商品につきましては弊社WEBサイトをご覧ください。

インプラテックス 値引き

検索

スマートフォンからも
ご確認頂けます!!



お知らせ...ITX News Letterは本年より年4回(1,4,7,10月)の発行となります。変わらずご愛読のほどよろしくお願い申し上げます。

掲載情報・商品・サービスおよびニュースレターに関するお問合せは



〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-33-19 YDM日暮里ビル
TEL.03-5850-8555 FAX.03-5850-8505 www.itx.co.jp

- 歯科器具
- インプラント材料
- セミナー

Facebook
はじめました。

インプラテックス

検索

